

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財) 全国地域情報化推進協会 御中 報告日 2020年10月9日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書 (2日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	佐賀県	代表者名	山口祥義
担当者部署	総務部	連絡先電話番号	0952-25-7086
担当者役職	主査	担当者氏名	草場康明
住所	8408570 佐賀県佐賀市城内一丁目1番59号		

1-2. 推薦団体 (「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	牛島 清豪
評価	よい
上記評価の理由 (どのようなところがよかったか等詳細に)	CATV事業者についての知見と、地域情報化の知見を有しており、当県の補助制度の設計にあたって的確な助言を受けることができた
アドバイザーへの要望事項	適切な助言をいただきありがとうございました

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間 (分)	活動時間 (分)
3-1. 活動	2020年9月30日	15時00分	16時00分		60
3-2. 派遣場所	会場名	佐賀県庁情報課		最寄駅	佐賀駅
	所在地	佐賀市城内一丁目1番59号		最寄駅からの交通手段	バス
	派遣形態	講演 (実地)			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="checkbox"/> 掲載可
------	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性 (職員、一般、企業等) について【自由記述】 県職員	人数 2人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい)	新型コロナウイルス感染症を予防するため「あたらしい生活様式」が提案されており、withコロナの状況下においては地域の情報をTVやWebなどにより取得することが望ましい。 本県では、近年、災害情報、行政情報、地域イベント等といった地域に根差した情報を住民に提供する情報源としてCATV重要な役割を果たしており、CATV事業者が感染リスクを避けつつ取材・情報発信を行うことが環境の整備が必要である。	
支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい)	CATV事業者の地域情報コンテンツの制作・発信に当たって、取材の「遠隔化」及び「自動化」並びにアプリケーション等を利用した情報発信を可能とし、地域住民が安心して生活できる環境を整備する。	
アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	情報コンテンツに制作にあたって、遠隔化、自動化に必要な資機材及び情報発信寿方の選定	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	CATV事業に対する、補助対象経費及び情報発信ツールの選定	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	なし	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	①予算は確保済みであり、年度内に推進する
事業の最終的な目指す姿	当県の9割をカバーするCATV事業者の環境整備を推進することで、地域住民が生活に関する様々な情報をWebなどで気軽に取得でき、安心して生活できる状況を作り出す	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

